

事務事業実績測定調査

10207020001	環境衛生指導事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000500	健康福祉部保健所保健衛生課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
	取り組みの方向	26. 安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を高める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	食品・生活衛生指導事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	興行場法、旅館業法、公衆浴場法、理容師法、美容師法、クリーニング業法、住宅宿泊事業法、温泉法、化製場法、建築物の衛生的環境の確保に関する法律、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律、大阪府遊泳場条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	利用者が衛生的に施設を利用できる状態				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・興行場、旅館、公衆浴場(温泉を含む)、理容所、美容所、クリーニング所や住宅宿泊事業届出住宅など、身近な生活衛生関係施設に対する、公衆衛生の向上及び感染症の発生予防を図る。 ・特定建築物における、空調及び給水設備等について監視指導を行い、衛生の向上及び確保を図るとともに、建築物の維持管理について、環境衛生上の正しい知識の普及啓発を行う。 ・家庭用品規制法に基づき、乳幼児用繊維製品の試買検査を実施し、健康被害の未然防止を図る。 ・遊泳場における施設、設備、管理体制等に係る監視指導を実施し、衛生の向上及び死亡事故等の未然防止を図る。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	公衆浴場の浴槽水及び遊泳場の採暖槽、遊泳水槽の水の行政検査適合率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	75					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.80	4.30	4.16
正職員数	4.70	4.20	3.66
非正規職員数(計)	0.10	0.10	0.50
再任用職員数	0.00	0.00	0.40
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.10	0.10	0.10
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	37,429	33,748	31,735
正職員人件費(換算額)	37,008	33,394	29,342
非正規職員人件費(計)	421	354	2,393
再任用職員人件費(換算額)	0	0	2,039
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	421	354	354
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,548	2,485	2,689
■事務事業の総計(千円)	39,977	36,233	34,424
国庫支出金	853	830	848
府支出金	361	307	302
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	830	861	833
一般財源	37,933	34,235	32,441

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	75.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・興行場、旅館、公衆浴場への立入検査を実施し、維持管理状況の確認、指導を行った。また、レジオネラ症発生の未然防止のため、公衆浴場の浴槽水のレジオネラ属菌検査を実施した。(浴槽水:不適合5施設/14施設) ・理容所、美容所、クリーニング所は、新規開設前検査により、構造設備の適合を確認した。 ・理容所、美容所の従事者に対しては衛生管理講習会を実施し、消毒等衛生管理の徹底を周知した。(参加者:理容所61名、美容所58名) ・住宅宿泊事業届出住宅への立入検査を実施し、運営状況の確認を行った。 ・特定建築物への立入検査を実施し、空調や給水設備等の管理状況を確認し、衛生管理基準の遵守を指導を行った。 ・遊泳場への立入検査を実施し、施設の衛生管理や、監視員等の配置等、安全体制についても確認を行った。また、遊泳水槽及び採暖槽の水質検査を実施し、不適合施設については再検査により基準適合を確認した。(遊泳水槽水:不適合2施設/14施設、採暖槽水:不適合0施設/7施設) ・家庭用品(乳幼児用繊維製品)は、販売店から計50検体を試買し、ホルムアルデヒド含有量を検査し基準適合を確認した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	生活衛生関係施設の衛生水準を向上させるよう、各施設に対し、引き続き立入検査等、監視指導を行う。特にレジオネラ症等の発生予防のため、公衆浴場の浴槽水や遊泳場の採暖槽水等の水質検査についても、引き続き実施していく。また、家庭用品(乳幼児用繊維製品)についても、試買によりホルムアルデヒド含有量の検査を実施していく。	

事務事業実績測定調査

10207020002	試験検査事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000500	健康福祉部保健所保健衛生課
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
	取り組みの方向	26.安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を高める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2014(H26)年度		～		
根拠法令等	地域保健法、食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、公衆浴場法、温泉法、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律、大阪府遊泳場条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公衆衛生の向上及び増進				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生監視指導計画に基づく食品の収去検査(食品添加物及び微生物検査) ・食中毒発生時における患者検体からの細菌検査、ノロウイルス等ウイルス検査 ・感染症発生時における患者及び接触者検体の細菌検査 ・感染性胃腸炎集団発生時における患者検体のノロウイルス等ウイルス検査 ・公衆浴場水等のレジオネラ属菌等水質検査 ・家庭用品中のホルムアルデヒド検査 ・住民から依頼の腸内細菌及び寄生虫卵検査 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	実施した精度管理の項目数 ／年度当初に決定した精度管理の項目数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	92					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.05	4.85	4.05
正職員数	4.05	3.90	2.85
非正規職員数(計)	0.00	0.95	1.20
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.95	1.20
■人件費総額(千円)	31,890	34,089	23,614
正職員人件費(換算額)	31,890	31,009	22,848
非正規職員人件費(計)	0	3,080	766
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	3,080	766
■直接経費(千円)	6,375	5,602	5,587
■事務事業の総計(千円)	38,265	39,691	29,201
国庫支出金	669	577	815
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	874	819	754
その他	0	0	2,596
一般財源	36,722	38,295	25,036

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	92.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> •食品の収去検査では102検体の検査を実施した。 •食中毒疑い事例や感染症発生時、ノロウイルス検査及び細菌検査を実施した。食中毒対応におけるノロウイルス検査では、27検体中18検体が陽性となる事例があった。感染症発生に伴う接触者検便では、48検体中4検体からO26を検出した。 •住民から依頼の検便検査において、1事例でサルモネラ属菌を検出した。依頼者に症状はなかったが、医療機関の受診を勧めるとともに、検査結果が陰性となるまでの期間は食品関係業務を行わないよう説明した。 •精度管理については、年度当初に実施計画を策定し、食品及び感染症に関する内部精度管理を実施するとともに、食品7項目、感染症2項目について外部精度管理を受検した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、内部精度管理及び外部精度管理に積極的に取り組む。	

事務事業実績測定調査

10207020003	食品衛生指導事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000500	健康福祉部保健所保健衛生課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
	取り組みの方向	26. 安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を高める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	食品・生活衛生指導事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	食品衛生法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	食の安全が守られ、安心して食品を喫食できる社会環境				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生法等関係法令に基づき食品関係施設の衛生管理や食品等の規格又は基準の遵守及び適正表示等の監視指導及び取去検査を実施する。 食品等事業者に対して食品衛生講習会を実施し、食中毒や違反食品の流通を予防する。 市民からの食品等に対する相談や苦情への対応及び市民に対する食品衛生に関する知識の普及啓発を行う。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	食品等の取去検査結果が、規格・規範等に適合している割合 指標 = 規格・規範等に適合している検体数 ÷ 取去検体数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	97.14					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	6.20	6.46	7.35
正職員数	6.00	6.00	4.65
非正規職員数(計)	0.20	0.46	2.70
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.20	0.20	0.20
臨時職員数	0.00	0.26	2.50
■人件費総額(千円)	48,086	49,374	39,583
正職員人件費(換算額)	47,244	47,706	37,279
非正規職員人件費(計)	842	1,668	2,304
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	842	708	708
臨時職員人件費(実額)	0	960	1,596
■直接経費(千円)	6,089	6,771	6,407
■事務事業の総計(千円)	54,175	56,145	45,990
国庫支出金	0	0	0
府支出金	27	27	27
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	13,117	10,810	6,170
一般財源	41,031	45,308	39,793

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	97.14%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の収去検査結果は、検査数315件中適合・良好306件であり、適合率は97.14%であった。 不適合の内容は食材である生の食肉からの食中毒菌検出であった。食材の汚染については十分な加熱調理や調理器具等の衛生的な取扱いを徹底するよう指導した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> 広域流通食品製造施設や大規模小売店等から優先的に収去し、効果的に食品の安全性の確保を図る。 製品・調理済み品が規格・規範を逸脱した場合は、施設監視・再検査等により改善指導・改善確認を行う。 	

事務事業実績測定調書

10207020004	水道法に基づく専用水道及び簡易専用水道関係衛生指導事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000500	健康福祉部保健所保健衛生課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
	取り組みの方向	26. 安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を高める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2012 (H24) 年度		~		
根拠法令等	水道法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	・専用水道、簡易専用水道等の利用者が衛生的で安全な水を利用できる状態				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・水道法に基づき、「専用水道の布設工事の設計の確認や給水開始等の届出の受理」及び「簡易専用水道の給水開始等の届出の受理」に関する事務を行うとともに、必要に応じて立入検査、報告の徴収、改善指導を行う。 ・飲用井戸等、水道法の規制の対象とならない飲料水を供給する施設の設置者に対し、施設の適正な管理や定期的な水質検査の実施などの衛生指導を行う。 ・大規模な災害による断水時に、近隣被災者に生活用水を供給する井戸として、災害時協力井戸への登録を井戸設置者に対し促す。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	専用水道の給水栓水等の行政検査適合率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	95					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.70	0.50	0.50
正職員数	0.70	0.50	0.50
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	5,512	3,976	4,009
正職員人件費(換算額)	5,512	3,976	4,009
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	734	877	795
■事務事業の総計(千円)	6,246	4,853	4,804
国庫支出金	0	0	0
府支出金	27	27	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,219	4,826	4,804

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	95.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・専用水道は、全施設(32施設)の立入検査(水質検査を含む)や水質検査結果等の報告徴収等を行い、不適事項のある施設には改善指導助言等を行った。 ・簡易専用水道は、給水開始や変更等の届出の受理のほか、572施設の法定検査の受検があり、うち検査結果で不適事項(書類のみを除く)のあった72施設に改善指導を行うとともに、必要に応じて立入検査を行った。 ・飲用井戸や小規模貯水槽水道の衛生指導や災害時協力井戸に係る事務を行った。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ・専用水道は、市水道を水源とする施設は年1回、自己水源を有する施設は年2回、全施設の立入検査を行い、必要な改善指導、助言を行う。また、水質検査結果等の報告徴収を行い維持管理管理状況の把握を行う。 ・簡易専用水道については、法定検査の結果を基に改善指導及び必要に応じて立入検査を行う。 	

事務事業実績測定調書

10207020005	墓地等経営許可事務		
測定年度	2019(R1)年度	14000500	健康福祉部保健所保健衛生課
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
	取り組みの方向	26.安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を高める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2012(H24)年度		～		
根拠法令等	墓地・埋葬等に関する法律、枚方市墓地等の経営の許可等に関する条例、枚方市墓地等の経営の許可等に関する条例施行規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	墓地等の管理が公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行われている状態				
事業概要	墓地、納骨堂又は火葬場を経営しようとする者等からの事前相談を受け、設置場所や構造設備、資金状況等を審査した上で許可申請書を受理し、許可証等を交付する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	墓地等の許可証等の事務処理率 【算定式:事務処理件数÷申請件数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.40	0.40	0.40
正職員数	0.40	0.40	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.30
再任用職員数	0.00	0.00	0.30
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,150	3,180	2,331
正職員人件費(換算額)	3,150	3,180	802
非正規職員人件費(計)	0	0	1,529
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,529
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	91	92	96
■事務事業の総計(千円)	3,241	3,272	2,427
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,241	3,272	2,427

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	・墓地、納骨堂の経営等に関する相談、問い合わせに適切に対応した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	・適正な許可事務を行うにあたり、引き続き職員のスキルアップに努める。	

事務事業実績測定調査

10207030001	狂犬病予防事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000500	健康福祉部保健所保健衛生課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
	取り組みの方向	27. 人と動物の共生を推進するため、動物の愛護・適正飼養の推進を図ります。また、殺処分される犬猫をゼロにすることをめざして、引き取り数の削減や譲渡の促進を図ります。	
	実行計画事業名	狂犬病予防・動物愛護事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度		～		
根拠法令等	狂犬病予防法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	飼い犬に対する狂犬病予防注射接種率を100%に近づけることで、狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止し撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。				
事業概要	狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止し撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図ることを目的とし、狂犬病予防集合注射を実施することにより、狂犬病予防注射接種率の向上を図る。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	登録犬のうち狂犬病予防注射接種数の割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	67.2					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.42	3.02	2.10
正職員数	1.50	1.50	1.07
非正規職員数(計)	0.92	1.52	1.03
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.92	1.52	1.03
■人件費総額(千円)	13,402	14,473	9,235
正職員人件費(換算額)	11,811	11,927	8,578
非正規職員人件費(計)	1,591	2,546	657
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	1,591	2,546	657
■直接経費(千円)	7,188	7,430	9,235
■事務事業の総計(千円)	20,590	21,903	18,470
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	10,123	10,589	8,737
一般財源	10,467	11,314	9,733

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	67.20%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	<p>市内の犬の所有者の利便性向上のため、枚方市委託獣医師と共に、市内48会場で、2019年4月2日から15日(11日間)にかけて実施。うち1日は日曜日に実施した。</p> <p>なお、飼い犬登録をしている犬の所有者には、事前に通知書を郵送することにより周知し、接種率の向上を図った。令和元年度末時点での枚方市の累計犬登録件数は18,723件であり、そのうち狂犬病予防注射を飼い犬に接種させ、狂犬病予防注射済票の交付を受けた件数が12,579件であったことから実績値は67.2%となった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	狂犬病予防注射接種率の向上を目的として、本市からの通知や、動物病院獣医師を介して、犬の飼い主への狂犬病予防注射接種に係る啓発活動を継続して実施する。	

事務事業実績測定調書

10207030004	動物愛護・適正飼養推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000500	健康福祉部保健所保健衛生課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	7. 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	
	取り組みの方向	27. 人と動物の共生を推進するため、動物の愛護・適正飼養の推進を図ります。また、殺処分される犬猫をゼロにすることをめざして、引き取り数の削減や譲渡の促進を図ります。	
	実行計画事業名	狂犬病予防・動物愛護事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	動物の愛護及び管理に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	犬・猫が適正に飼養され、犬・猫に起因する悩みごとがない状態。(殺処分をゼロにし人と動物の共存できる社会)				
事業概要	<p>犬及び猫の野犬の捕獲、負傷動物の収容、飼えなくなった犬・猫の引取り等を行うとともに、動物の適正飼養の啓発・指導を行うことにより、狂犬病の発生を未然に防止し、動物愛護の推進を図る。</p> <p>登録している飼い犬等の不妊手術を実施した者からの申請に基づいて、補助金を交付する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	殺処分数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	0	0	0	0		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.30	3.55	2.40
正職員数	3.00	3.20	2.00
非正規職員数(計)	0.30	0.35	0.40
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.20	0.20	0.20
臨時職員数	0.10	0.15	0.20
■人件費総額(千円)	24,605	26,389	16,869
正職員人件費(換算額)	23,622	25,443	16,034
非正規職員人件費(計)	983	946	835
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	842	708	708
臨時職員人件費(実額)	141	238	127
■直接経費(千円)	21,559	18,287	12,568
■事務事業の総計(千円)	46,164	44,676	29,437
国庫支出金	0	0	0
府支出金	100	100	100
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	5,097	4,335	1,640
一般財源	40,967	40,241	27,697

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>・犬及び猫の苦情相談7,695件に対してすべて対応しており、猫の不妊手術交付件数は交付予定件数の全件を交付した。譲渡・返還件数/捕獲・収容・引取り件数は29件/62件であったが、年度末に近い時期において多頭飼育崩壊による引取り件数が増えたためである。よって、次年度も引き続き譲渡を推進するものである。これらの結果、殺処分数は0件であった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	<p>引き続き野犬の捕獲、負傷動物の収容、飼えなくなった犬・猫の引取り等を行うとともに、譲渡をすすめ、動物の適正飼養の啓発・指導を行うことにより、狂犬病の発生を未然に防止し、動物愛護と管理の推進を図る。猫の不妊手術を実施した者からの申請に基づいて、補助金を交付する。</p>	

事務事業実績測定調書

10526030001	浄化槽法に基づく適正管理事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000500	健康福祉部保健所保健衛生課
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	89.河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	浄化槽法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	浄化槽によるし尿及び雑排水の適正な処理を図り、生活環境の保全及び公衆衛生が確保された状態				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽法に基づき、浄化槽の設置・廃止等の届出受理、設置者に対して浄化槽の維持管理の指導等を行う。 浄化槽保守点検登録の申請、変更等の受理を行う。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	浄化槽の定期検査不適正施設の改善率 【算定式:改善施設数/不適正判定施設数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	80	80	80	80		
実績	34.78					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.60	0.50	0.50
正職員数	0.60	0.50	0.50
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	4,724	3,976	4,009
正職員人件費(換算額)	4,724	3,976	4,009
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	48	27	30
■事務事業の総計(千円)	4,772	4,003	4,039
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	208	112	0
一般財源	4,564	3,891	4,039

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	43.48%	50%未満 : 低い
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の設置や廃止等の届出の受理のほか、浄化槽法第7条及び第11条に基づく法定検査の結果を受理し、不適正施設等について改善指導等を行った。 ・浄化槽保守点検業登録の申請、変更等の受理のほか、登録証の発行を行った。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽維持管理に必要な清掃や保守点検、法定検査が適正に行われるよう啓発及び指導を行う。 ・浄化槽の法定検査の結果を基に改善指導等を行う。 ・廃止等、浄化槽台帳の整理を行う。 	

事務事業実績測定調書

10999990036	保健衛生課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000500	健康福祉部保健所保健衛生課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課内の予算、庶務等の運営事務の適正な実施、職員の人材育成が実施されている状態				
事業概要	課の運営業務				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし				
指標の説明	—				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.14	2.89	2.70
正職員数	1.40	2.15	1.65
非正規職員数(計)	0.74	0.74	1.05
再任用職員数	0.00	0.00	0.30
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.74	0.74	0.75
■人件費総額(千円)	12,094	18,279	15,236
正職員人件費(換算額)	11,024	17,095	13,228
非正規職員人件費(計)	1,070	1,184	2,008
再任用職員人件費(換算額)	0	0	1,529
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	1,070	1,184	479
■直接経費(千円)	542	1,409	428
■事務事業の総計(千円)	12,636	19,688	15,664
国庫支出金	0	0	3
府支出金	0	0	1
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	424
一般財源	12,636	19,688	15,236

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・課内予算、庶務等運営事務 ・国等、関係機関で行われる研修会等に参加 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、適切な課運営事務を行うとともに、研修会への積極的参加等により、若手を中心とした職員の専門的技術、知識の向上に努める。	